

7-2 地球の未来を担う子ども達の将来を見据えて取り組む研究・活動

いよいよ冬休みが始まります。この時期は、これまで取り組んできた研究や活動を継続するとともに、春に向けた新たな計画を立てる大切な期間です。冬休みを活用し、自分の将来の夢を実現するための一歩を踏み出してみたいかがでしょうか。保護者の皆様もご存じのとおり、幼少期から SDGs に関わる研究・活動を継続し、学校の友人や教師、保護者、地域社会の人々と関わりながら取り組むことで、持続可能な社会の実現に向けた豊かな心や主体的な行動力が育まれます。子どもたちは研究・活動を続ける過程で、多くの経験知を身につけることができます。

現在の大学入試では、こうした経験知を評価する総合型選抜が広く実施されています。総合型選抜は、大学・短大・学部が定める「求める学生像」に合った人物を選抜する方式で、現在では国公立・私立大学の7割以上が導入しています。この入試では、各教科の成績に加え、コンテストの入賞実績や資格取得、継続的な研究・活動内容をまとめた「活動報告書」が評価対象となります。

〈参照〉文部科学省「入学者選抜実施要項」https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/senbatsu/1346785.htm

また、中学校や高等学校の入試においても、大学入試と類似した選抜方法を採用している学校があります。各地域やご家庭においても、子どもたちと一緒に地球温暖化防止などの SDGs に関係する研究・活動を継続し、持続可能な社会の実現を目指す子どもたちが育つよう支援していくことが大切です。

特に、総合型選抜を視野に入れている小学4年生・中学1年生・高校1年生にとって、この時期に次年度の計画を立て、研究・活動を継続・準備することは非常に重要です。活動報告書には、小学5年生・中学2年生・高校2年生から、最終学年の1学期末～9月頃までの実績が主に求められるためです。最終学年になると、受験手続きまでに研究・活動の結果が出ない場合もあり、その際は「継続中」「審査中」として記載されます。こうした点を踏まえ、早い段階から計画的に取り組む必要があります。

以下に、政府関連機関が主催または後援する、児童生徒向けの主なコンクールを参考として示します。計画を立てる際には、過去の上位作品や活動内容を、書籍やインターネットで確認するとよいでしょう。

- 地球教室「かんきょう新聞コンクール」小学生
- 全国小学生「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテスト
- 「小学生かべ新聞コンテスト」小学生：未来を考える・創る SDGs エネルギー学習推進ベースキャンプ
- こどもエコクラブ小学生部門「全国エコ活コンクール」壁新聞・絵日記及び中高校生動画部門「Youth 賞」
- 下水道の日「下水道いろいろコンクール」小中学生
- 「生命を見つめるフォト&エッセイ」小中高校生
- 環境フォトコンテスト小中高・高等専門学校
- 全国児童才能開発コンテスト小学生
- 「全国小中学生」紙リサイクルコンテスト
- 「自然科学観察コンクール」小中学生
- 中高生情報学コンテスト
- 「日本学生科学賞」中高校生
- 「全国学芸サイエンスコンクール」小中高生
- 「科学の甲子園」中高生
- 「長野県発明くふう展」・「全日本学生児童発明くふう展」小中高生など



トランプシューシューくばれーる

「第84回全日本学生児童発明くふう展」へ応募中
／長野県大会 関東経済産業局長奨励賞受賞
佐久市立佐久城山小学校5年 木次 咲桜

【文責】有賀 宏道

(日本環境教育学会会員・日本理科教育学会会員・環境アセスメント学会会員)